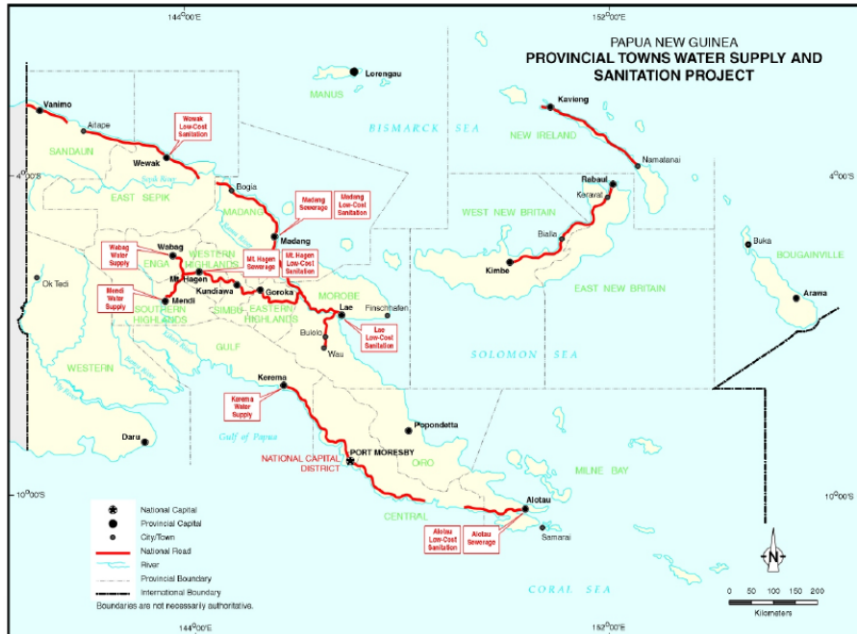


パプアニューギニア

1. 概要

- 国土: 46.2 万 km
- 人口: 約590 万人
 - ポートモレスビーに約30 万人
 - ニューギニア島の海岸地方に約220 万人
 - ハイランド地方に約230 万人
 - ニューブリテン島等の島嶼部に約110万人
- 首都: ポートモレスビー



2. 特徴

- 地理・気候
 - 首都ポートモレスビーのあるニューギニア島中央部は北西から南東にかけて3,000 m から4,500 m 級の山脈が続き、高地は谷が深く険しい
 - 高山部を除く国土のほとんどが熱帯気候でモンスーンの影響下にある
 - 平均降水量は3142mm、ポートモレスビーは、年間降水量が1,000 mm ほどと少なく4 月から11 月は乾季である
 - ガルフ州は世界的にも知られる多雨地域で、年間の降水量は8,000 mm に達する。
- 経済情勢
 - 経済活動の改善は鉱業産品・非鉱業産品の増産・価格上昇、順調な気候条件を反映して輸出部門により主導された。
 - 好調な輸出は、輸入の減少及び政府による財政引き締めとも相俟って為替相場の安定、インフレ率の低下、外貨準備高の増加をもたらしている
- 水資源
 - 15 の河川があり、延長4,550km であり、環境保全省が管理しているが、河川流量観測が進んでおらず、水資源管理のデータ取得が困難な状況
- 水利用
 - 水資源量は801 (km³/年) (2008) であり、内訳は農業が1%、産業が56%、市民生活への利用が42%である

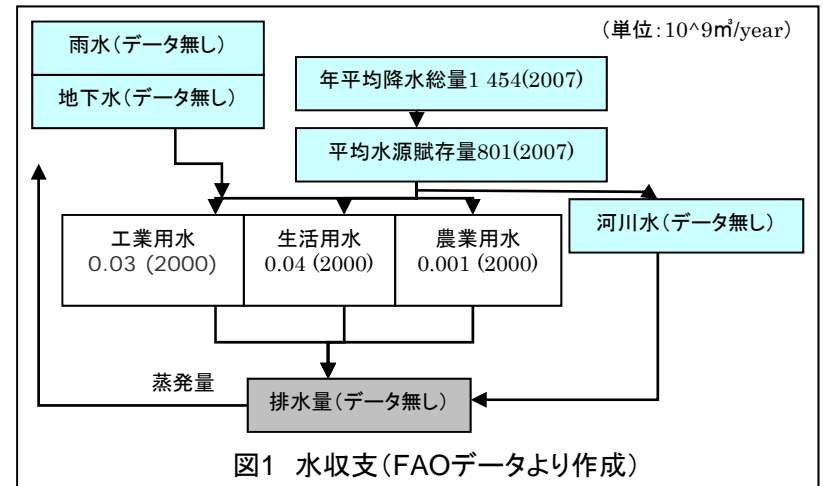


図1 水収支 (FAOデータより作成)

パプアニューギニアの水に関する主な動き

3. 上下水道事業

- 上水道
 - パプアニューギニアでは、都市人口の43%、地方人口の29%が安全な水の確保が可能であり、全国平均では給水率は30%に留まっている
 - 地方では設備の状況が劣悪なため、水系感染症が発生し、公衆衛生上大きな問題となっている
- 下水道
 - ポートモレスビー市内の下水普及率(回収率)は90%であるが下水処理はなされていない

4. 水に関する行政機関

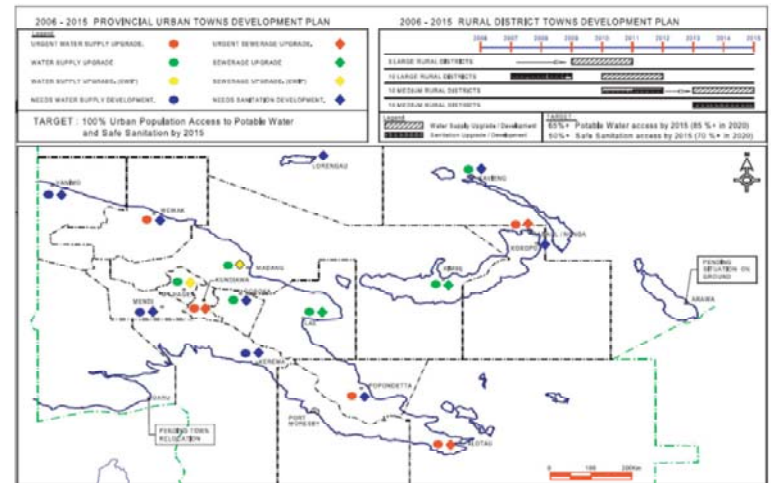
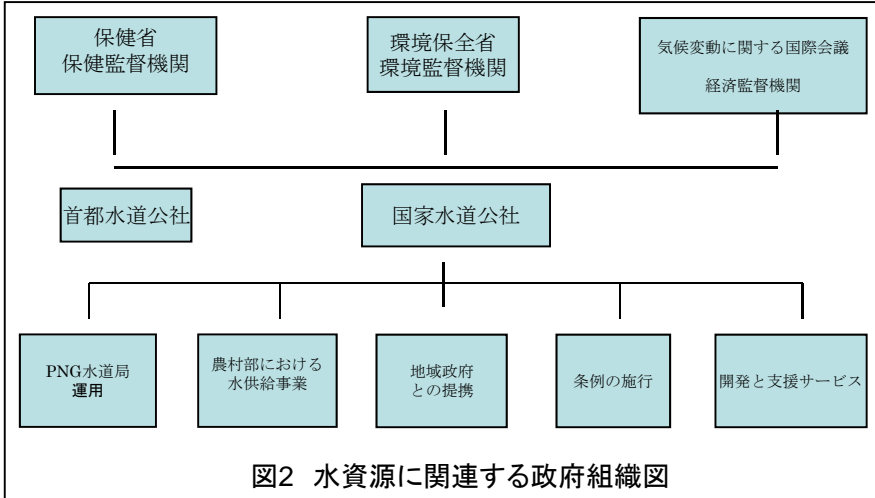
- 国家給水衛生委員会
 - 地方都市や地方政府領域の供水と衛生管理を実施する上で重要な委員会とされている。委員会の中で、今後実施すべき政策として「水質水量データベースの許可」「地方給水の財政的問題解決」「職員の技能を向上させるための訓練実施」等が挙げられている
- 国際水文学計画委員会
 - UNESCOに関連して設立された
 - 主に、水資源の水質と水量のリソースデータ収集、処理、格納、および管理に関して議論されており、処理された水文学のデータの使用はこの委員会設立の目的とされており、研究活動等も実施している

5. 水に関する政策

- 国家開発計画
 - 環境の持続可能性の確保(保健省が管轄): 2010年までに安全な水を確保できる人口を60%、2020年までに少なくとも85%を達成する
- 資本投資計画
 - 水道公社により策定されており、給水人口の拡大、経営基盤強化、水道施設の更新、拡張、新設や村落給水に関する取り組み目標が記載されている

6. 課題とニーズ

- 渇水対策
 - 過去旱魃による被害のため、大きな経済的ダメージを受けた経験があり、この影響は実に300万人にも及んだ
- 塩水化
 - 塩水化によって使用不能になった井戸が各地にみられる
- 水文データの不足
 - 将来的な水資源の有効利用や開発を目的とした水文データの収集と解析が実施されていない
- 治水
 - パプアニューギニアには15の河川があり、洪水・土石流被害も多い
 - 国家災害センターでは、地震は地すべりを誘発するケースが多いので、気候変動と関連付けて考えている。



都市部における水道整備事業